

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 6年 3月 20日

事業所名 発達支援センターま  
すと

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		構造化された空間を心がけるとともに療育内容に分けた部屋の使い方をしています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		通常の職員に加えて、お子さんの発達ニーズに合わせて外部講師をまねていています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		視覚的支援・主体性をはぐむためのスケジュールボードをはじめ、お子さんがのびのびと活動できるように配慮されています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		整頓・清潔を、空間そのものが子供たちの療育になるように心がけています。 保護者様よりコメント： 光の入り方がとても柔らかくとても心地よい環境に感謝しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		PDCAサイクルは、個別支援計画を実施する中で強く意識して、おこなっています。職員ミーティングの中で活用しています。	職員一人一人がその意味を知り、意識しているかという点とまだまだこれからということもあると思います。一人一人のスキルをあげ、より良い支援を行っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回、取らせていただきました。日常的に意見をもらった時は素早く対応できるように心がけています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページおよびマイページ『活動記録』に掲載します。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			第三者評価を紙面で受ける準備を進めています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		確保しています。自身が担当する療育に関係するものだけでなく、特性に対する基礎研修を行っています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		行っています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		使用しています。病院で撮っていただく検査の他、事業所内でも新版K・WISC-V、S-M社会生活能力検査等多様な検査ができるようになっています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		しています。10月から「関係機関連携」15回「事業所内相談Ⅰ」24回「事業所内相談Ⅱ」13回「家庭連携」4回行っています。すべて、個別支援計画に沿った計画で行って来ました。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画の内容ごとに担当を決めて、グループ・個別療育を実施しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当が中心になり行っています。イベントに関しては会議の中で検討します。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		豊富な教材を常に研究してもらい、固定したカリキュラムにならないように努力しています。保護者様からのコメント： たくさんのプログラムを用意していただいているのも勉強になります。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		一人一人の個別・グループに合わせた計画があり、それによって一週間のメニューが組まれています。	
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティングと療育ソフトを使用し、それを行っています。		

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りの時間がなかなか取れないのが悩みです。活動記録を各自記入してもらい、その中で必要のあることについてミーティングの中で取り上げています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		徹底しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングはこの3月に初めて行いました。就学児に関しては、就学支援シート作成の中でモニタリングも行き、見直し必要性について検討しました。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育てで支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		子育て支援ではNPOいどばたと市行政は保健課・教育委員会・子ども福祉課と連携して支援を展開しています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		まずとオリジナルの『就学支援シート』を作成し、作成段階では保育所の先生にも参加していただき、就学支援を積極的に行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		特別支援学校に通うお子さんはいませんが、地域の小学校とは密な連携をとっています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		福島県発達支援センターからドクターと3名の心理師さんが来てくださり、意見交換をしたり、研修会に参加したりしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		この11月に開所し、感染症の問題もあり、十分にできていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		まだ、お声がけいただいておりますが、ぜひ参加したいと思っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎日4枚の写真とともに保護者の方のマイページに送らせていただいています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		今回、茶話会の中で「学校ができること、できないこと」というテーマで講師をお呼びし、講話をお願いしました。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		1時間ほどかけて丁寧に行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインの内容だけでなくとどまらず、保育所保育指針 学習指導要領自立活動編とも連携した内容の個別支援計画を作成し、説明させていただいています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		お迎えに来てくださる保護者には、その時にお答えし、マイページなどの連絡ラインなど保護者にあった形で相談に応じるようにしています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		10月開所のため、まだ、1度しか保護者会ができていません。今後展開していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		マイページ、ラインからの連絡はその日のうちにお返しをしています。申し込みがあった時は、できるだけ迅速に連絡しています。また、契約の際に丁寧に説明しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ソフトの中に「活動記録」があり、それを使って皆さんに情報をお伝えしています。

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		気を付けて2重の確認を行うようにしました。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		一番わかりやすい方法でコミュニケーションが取れるようにしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域で子育て支援を展開している団体・個人がよく事業所を訪れています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		避難訓練を実施し、ホームページ・活動記録でお知らせしています。また、緊急時マニュアルはいつでも誰もが見えるところにおいて周知を徹底しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			開所からまだ日が浅いため、十分とはいえませんが、今後はBCPにもとづく訓練を行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		投薬依頼書をいただき、看護師が対応しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に聞き取りを行い、指示に従った形で対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ミーティングで振り返りをおこなうとともに、ヒヤリハットは積極的に記入する習慣をつくっています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		開所からまだ日が浅いため、十分とはいえませんが、今後はBCPにもとづく訓練を行っていきます。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		動きが激しく、それが必要となるお子さんの保護者様には必ず了解を得るようにしています。	